

NAGAKUTE ながくて 議会だより

No. 85
2013年(平成25年)
8月1日



6月
定例議会

- 平成25年度一般会計補正予算(第1号)(総務) 2p
- 市が洞地区新設保育園(児童館併設)
建築工事請負契約の締結(文教福祉) 2p
- 公園西駅周辺土地区画整理事業
施行条例の制定(建設環境) 3p
- 一般質問(個人) 4~14p
- 常任委員会名称等変更のお知らせ 14p
- 議案等審議状況(○×表) 15p
- 議会基本条例の制定をめざして 15p
- 傍聴記・9月定例議会予定 16p

総務

委員会

委員長 じんの 和子 副委員長 青山 直道 さとう ゆみ 正木 祥豊
加藤 和男 水野 とみ子 水野 竹芳

平成25年度 一般会計補正予算(第1号)

Q 成人風しんワクチン接種助成金の県・市の負担はどのようか。

A 本市では全額助成とし、県の助成金2,500円を除いた額を助成する。

Q 助成金1,100万円の積算根拠は何か。

A 対象者の年齢制限はなく、妊娠を希望する女性とその夫、妊娠中の女性の夫とし、女性1,082人、男性90人で積算。

Q トイレ改修工事予定の3小学校体育館に無水トイレが整備されるが、非常時のみの使用か。

A 常時、無水トイレとして使用する。

Q 国の補助金660万円で実施する緑地環境形成実証調査事業の目的は何か。

A 市街地遊休農地の活用を図り、高齢者が生き生きとした生活を送るためのツールとして使える方法を探っていく。

Q 長久手小学校区の地域共生ステーションはあきらめるのか。

A 小学校区ごとに6か所整備と考えている。

Q 西小校区地域共生ステーションの当初の整備費積算は、きちんとしたのか。

A 当初は40坪程度の物件2か所で、坪25万円の整備として2,000万円計上した。それが西小校区のものは、面積が104坪に、整備費も坪単価36万円となった。内装費のほかにトイレの改修、窓や天井の新設、労務単価の上昇等により、総額3,800万円の予算となった。

Q 西小学校区の人口は約8,000人であるが、ワークショップ参加者は何人か。

A 平成24年11月から部会4回、打合せ会3回で延べ100人程度の参加。

賛成討論

多くの住民の積極的参加が進んでいない等の懸念はあるが、予算の使い方を考え、市民全体の地域共生ステーションとして使用できるようにしてほしい。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決



年内オープン予定の西小学校区共生ステーション

文教福祉

委員会

委員長 原田 秀俊
吉田 ひでき

市が洞 地区新設保育園(児童館併設)建築工事請負契約の締結

Q 園庭に木も多く、高低差もある。その上、設計も独特である。市が要望したのか。

A プロポーザルの審査要綱に地形を生かし緑にあふれ、地域の安全性を踏まえた設計とした。高低差は東西で2~3mである。

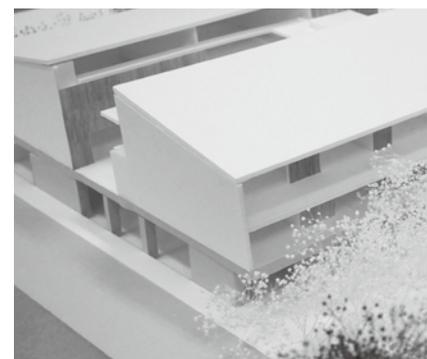
Q 地域住民からの要望はどうか。

A プライバシー保護の要望があり、建物の左右を低くし、圧迫感を少なくし、東側の窓も開口部を小さくした。遊戯室の騒音対策では、壁、天井に吸音材を入れた。

Q 園庭に平地がない。災害時には園庭が児童の避難場所にもなるが、斜面の園庭でも安全な場所と言えるのか。

A この保育園は、園庭が特長である。指定管理者には独自の保育プログラムがあり、利用者の選択肢を広げることで保育サービスの向上につながると考えている。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決



保育園には子どもたちが走り回れる園庭が

副委員長
岡崎 つよし すえ 規代
佐野 尚人 加藤 武 川合 保生

子ども・子育て 会議条例の制定

Q 子ども・子育て会議の設置を
求める理由は何か。

A 平成 27 年施行の制度で、子ども・
子育て支援事業計画の策定が義務
付けられている。この会議で検討
したことを子ども・子育て支援事業
計画に反映していくものである。

Q 新制度がスタートする 2 年後
に、保育園はどう変わるか。

A 「保育に欠ける」が、「保育の必要」
に変わる。今後、国から保育を必
要とする基準が示され、この会議
で市の基準を協議することになる。

Q 子ども・子育て会議で、保育需
要について議論され、公立保育所
の設置を提案できるのか。

A ニーズを調査し、公立公設保育
園が足りないということであれば、
検討の余地はある。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決

建設環境

委員会

公園西駅 周辺土地区画整理事業 施行条例の制定

委員長
田崎 あきひさ 伊藤 祐司 丹羽 茂雄
副委員長
木村 さゆり 浅井 たつお

Q 前熊一ノ井、岩作三ヶ峯につい
ては、どのあたりが入ってくるのか。

A 岩作三ヶ峯については、田
名古屋線からモリコロパーク西口
へと入っていく道の左手側一部土
地。前熊一ノ井については、香流
川の中の一部土地。

Q その他の収入とあるが具体的に
はどのようなものか。

A 市の単独費 1 4 億 3, 7 0 0 万
円である。

Q 事業で赤字が出た場合は、市
が負担するのか。

A 現在の区画整理事業支出総額は
4 4 億 1, 0 0 0 万円。収入は、保
留地処分金が 2 3 億 6, 0 0 0 万
円、国庫支出金 6 億 1, 3 0 0 万
円であり、残金が市の負担金。保
留地処分金は、今後変動の可能性
があるため、事業計画の変更はあ
りうる。

Q 保留地処分金について、経済
状況の変化などにより、示した
予定価格より高くなる可能性は
あるか。

A 処分金の額は、評価員に諮り決
定する。社会情勢や周辺宅地の実
勢価格などにより変動しうる。

反対討論

活断層調査について明確な答弁は
なく、連絡橋の予算についても、不
明確な部分がある。商業施設の誘
致が優先され、そこに住む住民の
ことが考えられていないまま条例が
成立し、区画整理が進んでいくこと
に危惧を感じる。

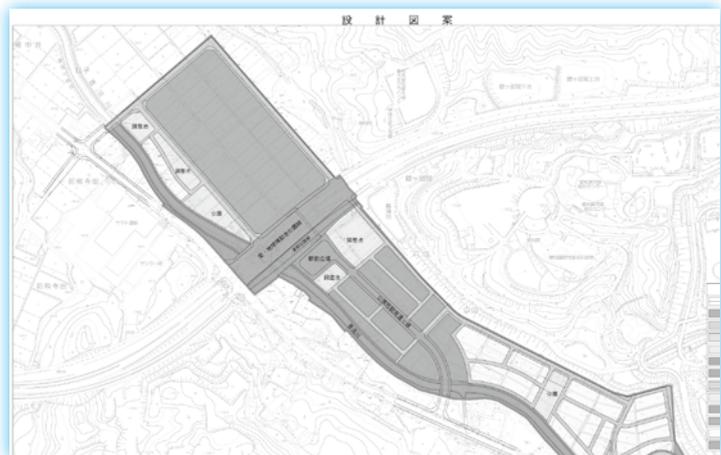
採決の結果、賛成多数にて原案のとおり可決

市道路線の認定

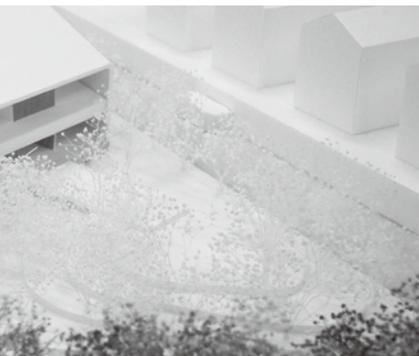
Q 田名古屋線は、夕方の時間帯
などに渋滞している。交通量の状
況は把握しているのか。

A 交差点の交通量調査の実施を予
定している。

採決の結果、賛成多数にて原案のとおり可決



公園西駅周辺土地区画整理事業設計図(案)



必要

伊藤 祐司 議員



立石池の管理について

Q 立石池管理修繕のため大型予算化を求める。

A 建設部長 検討する。

Q 竹やぶ対策を求める

A 啓発活動等実施している

Q あいち森と緑づくり事業など交付金事業を活用し企画を提言しないか。

A 建設部長 検討する。



大規模な取り換えが必要な立石池の木製柵

Q 下山地区の冠水対策は進んだか

A 万全とまではいえない

Q 排水ポンプの常設等は検討できないか。

A 建設部長 難しい。

Q モリコロパークと公園西駅との連携策を企画提言しないか

A 新しいエントランス設置に向け県と協議する

Q リニモ乗客増には周辺施設の活用が重要課題、積極的に県と協議をしないか。

A 建設部長 協議する。

Q 自転車通学拡大要望への対応はどのようか

A 拡大は難しい

Q 丁寧な説明と納得いくまでの話し合いが必要ではないか。

A 教育文化部長 その方向で進めている。

Q 香流川緑道整備が進まないのはなぜか

A 瀬戸大府東海線の開通を待っているため

Q いつできるか分からないものを待つのは問題である。

A 建設部長 上下流の接続を考えるとやむを得ないが検討する。

旅券発行について

Q 旅券発行サービスを実施しないか。

A 企画部長 実施に向け研究する。

田崎あきひさ 議員



Q 市内 575 基の街路灯で収益事業を

A 研究したい

Q 市内 575 基もの街路灯が、バナーの取り付け可能な仕様となっている。全国の自治体でも珍しく各方面から羨ましがられている状況である。

そこで、市が管理する街路灯に企業広告バナー（景観配慮のため複数本のエリアごと一括）を募集して広告料収入を得る事業の展開を求める。

これをできる環境を整備すれば、交通渋滞対策費用やまちづく



バナーを掲出できる街路灯が 575 基もあり、市にはこれを活用してもらいたい

り活動費用等の自主財源確保に繋がる。

A 建設部長 本市では企業広告バナーは設置することができない。

Q 宝の持ち腐れとなっている。メディアスペースとして開放し市民のために収益事業を行うという提案だ。

全国の自治体が収益を上げる努力をかたちにしている。

バナーの取り付けに地元業者やシルバー人材センターを使うこととすれば雇用が生まれ、私は収益確保の糸口になると考える。

これからいくつか大きな店舗が進出する長久手市だが、実際にこの連続照明にバナー広告ができないのか、もったいない。との問い合わせもありルール・受け皿を整備してほしい。

A 研究していきたい。

Q 文化の家 市民優先予約の課題は

A 市民の理解が課題

Q 文化の家施設利用に関し、市民の優先利用（抽選）を求める声があり、市は1年後に結論を出すという。優先利用にどのような課題があるか。

A 教育文化部長 3つの市民団体を優先登録団体として承認し1月から優先予約を試行している。文化の家が掲げる多様な文化活動のための利用との調整、市民・利用者への周知と理解が課題である。

岡崎 つよし 議員



Q 早急に防犯カメラの設置、運用の要領の策定を

A 地域が主体となった導入システムづくりを検討

Q 市が洞地区自治会連合会、南小学校区自治会連合会より防犯カメラ設置の要望があるがどう考えるか。

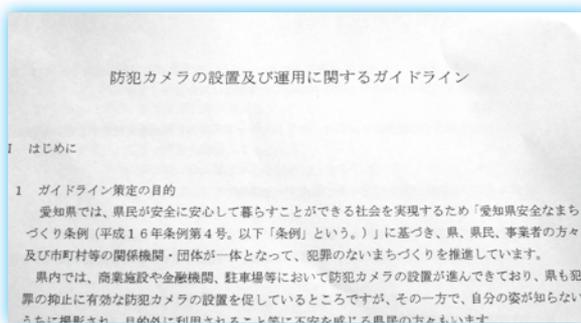
A プライバシーや肖像権などの個人情報保護等、防犯カメラに関する勉強会を行い、設置や運用に関するガイドラインに沿って導入の注意点を検討したい。また、防犯カメラ導入地区の視察も行いたい。

Q 電柱には設置できないか。

A 現状ではできない。

Q 防犯カメラ購入、維持管理に対して補助金制度を考えないか。

A 防犯カメラ設置基準に対する市独自のガイドラインを定め補助制度も考える。



県民を対象とした愛知県防犯カメラガイドライン

Q 平成23年12月議会で防犯カメラ設置の提案をしてから今まで、具体的な進展がない。早急に取り組まないか。

A 平成25年9月議会までに方向性を出し、予算は考える。

Q 市職員の時間外勤務手当の総額は

A 約1億8,000万円

Q ICタグ導入で職員の一括管理をしないか。

A 早急に検討する。

Q 一斉定時退庁日を増やさないか。

A 毎月の給料日、ボーナス支給日を考えている。

Q 過去にデンタルネグレクトの疑いはあったか

A 無い

Q 節目検診受診率が平成24年度は6.4%に倍増した理由は何か。

A 受診予約があるのに来られなかった人に対して再度連絡して、こまめに案内をした。

Q 受診率を上げることが市町村に求められている課題だと思うが。

A 市は、県歯科医療関係者と連携し乳幼児期から高齢期までのライフステージごとに歯科検診の実施を行うなど8020運動の推進に努める。

吉田
ひでき
議員



Q 機構改革による市民へのマイナスは

A ないと考える

Q 今回の市役所機構改革は、現市長の思いつき提案ではないかと声が届く。現行の組織ではどのような支障があると判断されたか。

A 企画部長 市の掲げる「日本一福祉のまち」を実現するために現行組織に比べて、複数の課の連携をスムーズにする事や個々の部における事務の関連性を見直した結果、この組織編制がよりベターと判断させて頂いた。

Q 人事評価制度はいつから

A 平成 18 年度から

Q 人事評価制度構築支援業務委託費はいつから始まり、昨年度までの総額はどのようにいつまで続けるか。

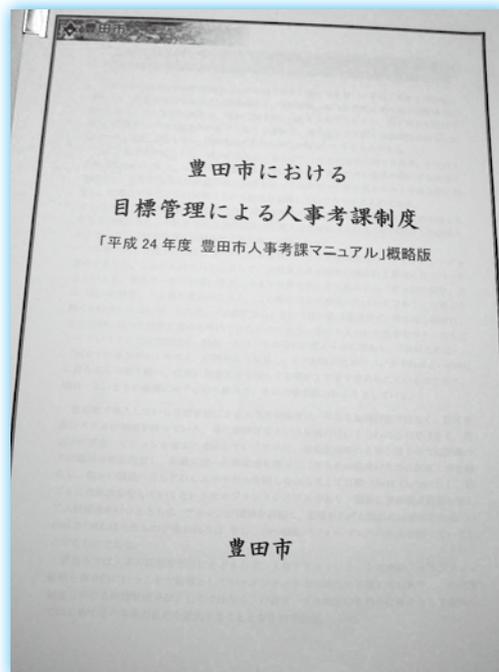
A 総務部長 平成 18 年度から始まり、昨年度までに合計 1,185 万 5,025 円を支出した。今年度を最終年度とする予定である。

Q 今まで、部長・次長・課長等、管理職の方々は、どのような評定基準等により役職を任命されてきたか。たとえば、昇格昇進試験・適正試験等の実施はされたか。

A 昇任試験は、行っていない。

Q 組織改革・人事異動・人事考課等に関係し、職員の「健康管理等」には十分な配慮が必要である。福祉のまち日本一を目指している市役所職員の「心」が疲れていては何ともならない。今後の職場改善、人事労務管理等について市長・副市長の考えを伺う。

A 「心」の健康管理については、過度の時間外勤務とも密接な関係があり、時間外勤務の多い部署については、事務事業の合理化の検討の他に人的配置を行い、負担軽減を図る予定。精神科医を顧問として心の健康相談や健康講座を行っており、今後も適切な労務管理を心掛けて行きたいと考える。



「人事考課・役職昇格等は、他の自治体を参考にもっと勉強が必要では」

すえ
規代
議員



Q 防犯カメラの早急な設置を

A システムづくりを検討中

Q 自治会連合会から防犯カメラの設置が強く要望されているが、どのように進んでいるのか。

A 市民生活部次長 導入に向けて勉強会を開催し、愛知警察署からの助言も参考にしている。

Q ワンコインサービス事業は

A 6 月 1 日から開始

Q 一人では有償ボランティアの登録はできないのか。

A 福祉部長 できない。60 歳以上の市民等 3 人以上のグループでの登録となる。

Q シルバー人材センターはどのように関わっていくのか。

A 個人のグループによる有償ボランティアが主体である。

「新設され

Q サービスの中に、「お話し相手」がある。ワンコイン500円の所要時間である30分を越えたら、どうするのか。

A 30分で切り上げる。ただし、地域の助け合い事業などでボランティアを募ることを考えている。

Q 作業中の怪我や物損に備えて保険に加入しているのか。

A 市で傷害保険と損害保険に加入する。

Q 将来は自主運営にする予定か。

A 市独自の事業としてスタートしたばかりで、現時点では考えていない。

障がい者や高齢者等の外出に安全なまちづくりについて

Q 人口の増加や商業施設が多数できたことにより、幹線でない道路でも自動車の通行量が目立って増え、危険度も増している。障がい者や高齢者、子どもの安全確保のため、どのような対策を講じる予定か。

A 建設部長 課題であると考えているが、検討はまだである。

Q 薄くなった一旦停止や横断歩道などの表示の引き直しを警察に働きかけているか。

A 市民から要望があるたびに、警察にお願いしている。

Q N-バス停留所へのベンチや屋根の設置は進んだか。

A 杵ヶ池公園の停留所にベンチを設置した。



「たデザイン性のあるおしゃれな停留所ベンチ」

木村 さゆり 議員



健康都市宣言をしないか

A 検討していく

Q 元気になりゃあせ21計画が本年度最終年度となる。新計画の策定をする上で、今後5年間のがん検診率の目標はどのようなか。

A 福祉部長 平成24年度のがん検診受診率は、胸部59.5%、胃44.2%、大腸59.5%、子宮44.2%、乳腺52.4%で、いずれも県平均を上回っている。今後もこの水準の維持・向上を目標とする。

Q 生活習慣の改善についてはどのようなか。

A 健康づくり計画では、食事、運動、歯の健康、たばこ、元気・こころの5つの課題について取り組んでいる。目標に沿って、健康推進ボランティアと協働して個人の疾病予防や健康の保持・増進を行い、生活習慣の改善を図っている。

Q 心の健康についてはどのようなか。

A 今年度精神保健福祉士を配置し、常時専門家が相談を受けることができるよう相談体制を充実し、本人及び、母親を対象に相談を行っている。今後は、こころの健康について情報を発信して啓発に努めていく。

Q 健康都市宣言をしないか。

A 今年度に予定している健康づくり計画の見直しの中で検討していきたい。

スタントマンを使った自転車安全教室を行わないか

A 検討してもらう

Q 自転車事故防止策はどのようなか。

A 市民生活部次長 自転車と歩行者の双方の安全を確保するため、現在その方法について検討している。

Q スタントマンを使った自転車安全教室を行うべきと考えるが見解はどのようなか。

A 提案があったことは各学校に伝え検討してもらう。



尾張旭市で行われた自転車安全教室

じんの
和子
議員



Q 26年度の保育園待機児童は

A 解消の見込み

Q 各保育園の空席・待機状況、一時保育や障がい児保育の有無を一覧表にしてネット上で公開できないか。

A 福祉部長 対応したい。

Q 株式会社の保育所事業参入では、第三者評価の義務付けや、運営事業者の財務状況を審査したか。

A 今は第三者機関の設置は考えていないが、今後状況を見て判断。市から補助金が出ているので、監査指導はできる。財務状況は確認した。

Q 市が洞地区の保育園は、今後指定管理者を募集するが、保護者に対し十分な説明や意見聴取の機会を積極的に設けていくか。

A 情報がしっかりと伝わるように考えている。



6月1日に開園した「アスクはなみずき保育園」市では初めての公認の民間保育施設 (株)日本保育サービスが運営

Q 公立保育園の存在意義は何か。

A 保育所、DV、虐待など、警察との連絡調整を取り易く、子育てのセーフティネットを推進する役割も持っている。将来的に公立保育園の存続は重要。

Q 長湫北保育園の規模や場所、建替え時期は決定か。

A 年度内に策定。

Q 西小校区地域共生ステーションの運営費はいくらか

A 1か月あたり約80万円と想定

Q 改修費として3,800万円かかるが、地域共生ステーションがまだ周知されていない。肝心の受け皿がなく、箱ものを作るだけにならないか。

A たつせがある調整監 地域への周知や運営体制の強化を図ってきたい。

A 市長 まちづくりを一緒にさせていただいて、いろんな事に人が集まることを課題として考えていきたい。

Q 管理・運営マニュアルや体制づくりができる見通しはあるか。

A 先進地区の資料など提供しながら、地域で協議いただき開設までに整えたい。

水野
竹芳
議員



Q 都市計画税はとりっぱなしか

A それなりに還元している

Q 長久手市岩作地内県道田初名古屋線以南・香流川北側地区の都市計画はどのようか。

A 建設部長 下水道は整備したが、その他の計画はない。

長久手温泉「ござらっせ」の今

Q ござらっせは、月1回シルバーデーに特別入泉券を配布。期間はいつからいつまでか。

A 福祉部長 平成23年6月から現在まで、延べ24回。



みんなで乗ろうよりニモ

Q 月1回のシルバーデーには、平均何人の高齢者が入泉しているか。

A シルバーデーにおける高齢者の入泉者数等の実績は残っていないが、無料入泉券を月平均800枚程配布。

Q 本年4月から特別入泉券で入泉する時に、高齢者は入湯税150円を負担する事になり、年間1,800円負担が増えた。今までは誰が負担していたのか。

A (株)長久手温泉が負担し、入湯税の額は客1人当たり150円である。

高齢者福祉の更なる増進

Q 高齢者外出促進事業は平成24年度からリコモ乗車券の助成額が2,000円から1,000円に引き下げられたが利用状況は。

A 福祉部長 平成24年度は、平成23年度より185人増加し3,417人だった。

Q 2,000円から1,000円に引き下げられた事により、窓口での市民の反応はどのようか。

A 反応は様々で、増額希望のご意見もあった。



川合 保生 議員



Q 本会議における議員への答弁のその後は

A 議会終了後、各部署で内容をとりまとめている

Q 自治基本条例についてはどう検討したのか。

A 企画政策課長 制定までおおむね2年から3年程度は要すると考えているが、住民と議論を重ねて作業を進めていきたい。

Q 民俗資料館についてはどうか。

A 副市長 どこに行ってもあるような1回行ったらもういいと言うようなものにはしたくないので、内部で早急に計画し議会に提示していきたい。

Q 瀬戸大府東海線はどんな状況か

A 田柵線以南の用地買収を進めている



いつ開通するのか瀬戸大府線

Q 路線認定以来57年経ったが未だ全通しない。市内の開通はいつか。

A 建設部長 分からない。

Q 原因は何か。

A 建設部長 地権者の中で境界確定ができない部分があるのでそこがネックになっている。

Q 開通しないのなら現状改善のため、市役所南東交差点に右折信号を付けることは考えないのか。

A 安心安全課長 現在愛知署に要望している状況であり現状調査をしている。

Q 体育館は造りかえないか

A 今後考えていく

Q いつになるのか。

A 教育文化部長 スポーツの杜も10年の借地期間延長を予定している、総合的スポーツ施設の検討をしなければいけない時期に来ていると考えている。近々にやらなければいけない。

Q 市長はどう考えているのか。

A 市長 総合スポーツ施設は必要であると思うが市内にある大学、口論義公園等の施設利用も考えていかなければと思う。

佐野 尚人 議員



Q スポーツ総合施設の整備を

A 早急な課題と認識している

Q 今年度末でスポーツの杜の借地契約が終了する。この機会に新たなスポーツ総合施設の整備に着手すべき。

A 教育文化部長 実現に向けて取り組んでいく。

Q リニモ沿線にスポーツ総合施設を整備する事で、第5次総合計画にあるスポーツターミナル構想が具体性のあるものになってくる。また利便性のよいリニモ沿線にスポーツタウンを整備する事でスポーツイベントや公式大会などを誘致でき、リニモの乗客増につながる。農業総合試験場など視野にいれながら実施計画を早急に策定しないか。

A 企画部長 候補地のひとつとして早急に検討していく。

Q 防犯カメラを設置しないか

A システム作りをしていく

Q 自治会などの団体が設置しても、プライバシーの問題で管理者になじまない。市が管理者となって、防犯カメラの設置に取り組まないか。

A 市民生活部次長 システム作りをしていく。

Q 犬のフン害や暴走車対策などの抑止力にもなり、行政サービスの向上にも大きく寄与することからも、市が取り組むべき。

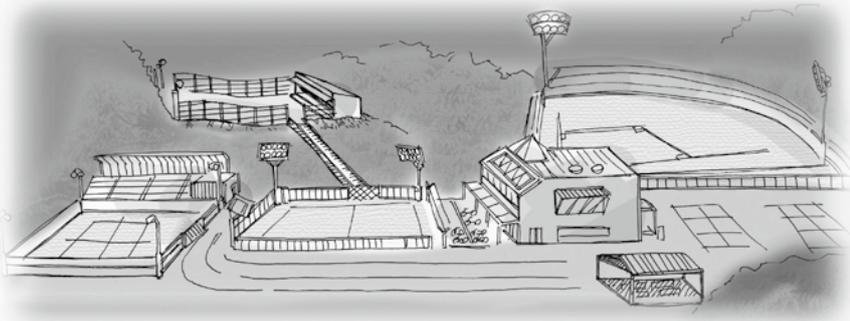
A そうした効果もあると期待しているが、設置は地域が主体となってもらいたい。

Q 自転車安全利用の向上に努めないか

A 新たな提案をしていく

Q 自転車運転マナー向上のため、検定の導入で成果をあげている学校がある。本市でも高校や大学に提案しないか。

A 建設部長 教育機関との連絡会などで提案していく。



リニモ沿線に総合スポーツ施設を建設する事で多くの相乗効果が期待できる

青山 直道 議員



Q Windows XP サポートが来年4月で終了する

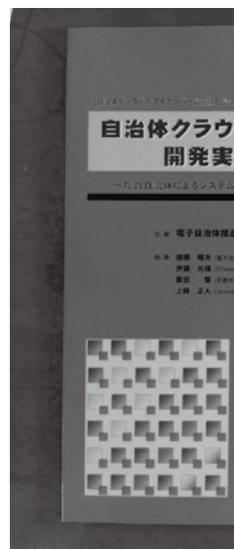
A 対応を検討中

Q 約9割のパソコンが9月にリース1年延長との事だが、半分または1/3を本年度に更新しないか。

A 総務部長 情報系パソコン330台を本年度だけの延長か、半分または1/3とするのか、費用対効果も含めながら早めに検討する。

Q 自治体クラウドの推進は。

A あいち電子自治体推進協議会部に参加複数団体による共同利用を模索してきたが、住民基本台帳や税などに関しては、本市と同じシステムを利用する市町は、平成24年にシステム更新をしたところであり、財務会計等の別システムにおける可能性について検討する。



ICT化の大きな研究課

Q 本年5月に成立したマイナンバー法により業務系システムの改修が必要になり、2016年1月の行政手続きでのマイナンバーの利用開始になるのでコスト削減になる自治体クラウドの話を進めるべきではないか。

A 仕様はまだ決まってないがシステム改修が想定される。協議会の中でNEC関係のグループに参加しているため、システム更新等を含める中で早めに協議をして行く。

Q 「Weeklyながくて」など刷新の内容は

A 若手の市職員レポーターや「クレーシガーナ」を採用

Q ひまわりネットワークが視聴できない人の為に、録画して図書館で貸し出したり、市施設やホームページなどから視聴出来るようにしないか。

A 企画部長 著作権上の問題により、別途使用料をひまわりネットワークに支払う必要があり、今後費用対効果の観点も含めて検討する。

加藤
和男
議員



Q 職員の人材育成は

A 現場へ出て、「挨拶」して「笑顔」で「話を聞く」ことである

Q 人材育成をどのように考え、職員研修を実施しているのか。

A 毎年、人材育成の研修計画を作成しており、現場に出向き、自らの目で見て、考え、市民と協働して仕事をする人材の育成を職員研修の基本としている。また、民間経営者を対象にした研修塾に職員を派遣している。

Q 職員のスキルアップをどのように考えているのか。

A 各階層に応じた研修により職員のスキルアップを行っているが、各所属における職場内研修や自己啓発も重要であると考えている。

Q 公共施設の維持管理は

A 管理者が適正に行っている

Q 公共施設の維持管理はどのようなか。また、修繕計画は作成されているか。

A 総務部長 各施設管理者が必要に応じて日常における修繕や各種点検などを行っている。また、施設の建替えや大規模修繕は、各施設管理者が作成した修繕計画等をもとに実施している。

Q 各学校の校舎修繕計画はどのようなか。

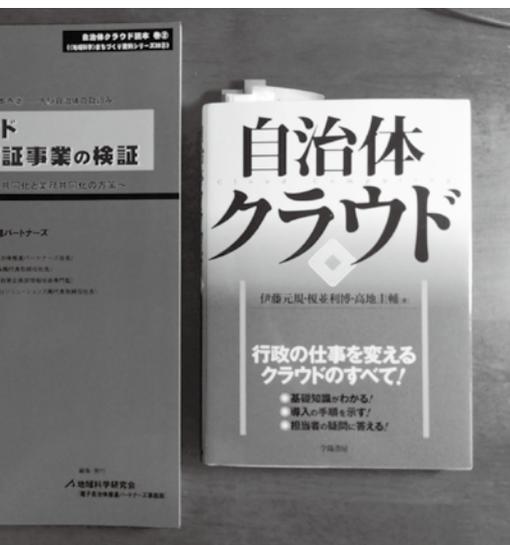
A 今年度、老朽化した建物の劣化調査診断等を実施し、その結果をもとに策定していく。なお、今年度からトイレの全面改修を行う。さらに、災害時に地域の避難所となる体育館の天井材の落下防止も進めていく。

Q 市内の消防団器具庫の耐震はできているか。

A 消防長 器具庫8カ所のうち、7カ所は旧基準のものであるが、いずれの器具庫も耐震診断は行っていない。各所有者と相談して耐震診断を行っていきたい。



改修工事が急がれる築44年目の長久手小学校



題「自治体クラウド」

原田 秀俊 議員



Q 自治会連合会からの防犯カメラの設置要望にどう応えるのか

A 地域で防犯カメラが導入しやすくなるようなシステム作りを検討する

Q 監視カメラのシステムの発展は急だが、どこまで掌握しているか。

A 安心安全課長 カメラの性能も重要な事だが、この地域にはカメラが設置してあるんだと、PRすることが大変重要な事だと思う。

Q 南小校区で防犯カメラの設置についてのアンケートでは、9割以上が賛同しているという。プライ

バシーより、地域の防犯をどうするかにきている。

しかし、この先どうなるかの懸念が新たに出ている。日弁連が指摘するのは、犯罪捜査の名のもとに監視カメラで無差別に撮影した大量の市民データが令状もないまま、警察に任意に提供されるという違法状態の地域もあると言う。日弁連から法的規制に関する意見書も出ている事を踏まえ、地域の要望に早期に応えるべきではないか。

A 日弁連の提言は承知している。特にデータ管理の重要性があると思う。プライバシー保護のルール作りを、今後、ガイドラインの方で定めていきたいと思っている。

Q 窃盗事件防止の教訓・侵入手口等を科学的に分析して、自己防衛方法の内容を広く市民に周知していくことが必要だと思うが、どう認識しているのか。

A 対処方法について、警察署では統計的方法で分析しているが、手口の変化はないとされている。

今後も、自治会連合会の防犯講習会などを通じてPRをしていく。

水野 とみ子 議員



Q 耐震シェルター整備に補助制度を

A 検討する

Q 耐震シェルター整備に補助制度を導入しないか。

A 市民生活部次長 耐震シェルターは、部分的な対策であり、被災時の建築物の倒壊防止や避難路の確保、火災延焼防止など、市全体として防災の観点での課題はある。

しかし、建築物の倒壊時に人命を守ることを最優先するために愛知県が新規事業として導入した。また、内閣府が平成25年5月28日に公表した南海トラフ巨大地震対策の最終報告にシェルターの導入等を推進することが示されたことを踏まえ、耐震改修促進計画の中で、すでに導入されている近隣市町の状況も参考にしながら検討する。

Q 冠水する地域に「土のうステーション」設置を考えないか。

A 建設部長 検討していく。



土のうステーション

長久手南小学校区の重点犯罪件数と愛知県下校區別ワースト順位

平成23年度犯罪件数ランキング

	侵入盗総数	内住宅対象	ひったくり	自動車盗	自転車盗	オートバイ盗
犯罪数	22	13	0	18	80	30
県下順位	166	154	380	2	25	2

	部品盗	車上盗	自販機ねらい	強盗	恐喝	合計
犯罪数	28	72	3	0	1	254
県下順位	23	4	233	258	63	9

資料は、南小校区自治会連合会H24年度活動報告書より

Q 高齢者への支援は

A 図られている

Q 退院後も住み慣れた街でくらすための高齢者への支援はどのようなか。

A 福祉部長 地域包括支援センターや訪問看護ステーションが、病院と連携し退院後も高齢者の心身状態や環境の変化に応じて、適切な支援やサービスを組み合わせ提供できるよう調整が図られている。また、地域の医師とも連携を図り、医療面に関しても安心した生活を送るための支援ができるよう協議を進めている。

Q 地域包括支援センターを3箇所にする考えはどうか。

A 予算、人口圏域人数の枠を考慮し判断したい。

Q 高齢者版ファミリーサポート設置を考えないか。

A 6月1日からワンコインサービスが始まった。市民の利便性を把握し考えたい。

浅井 たつお 議員



Q 市制にふさわしい施設整備を

A 前向きに取り組んでいきたい

Q スポーツ振興のための各種施設整備とその計画の具体的タイムスケジュールはどのようなか。

A 教育文化部長 総合スポーツ施設の整備は早急な課題である。その実現に向けて前向きに取り組んでいきたい。

Q 古戦場・郷土資料室・資料保管施設の具体的整備計画はどのようなか。

A 具体的な整備計画には至っていない。

Q 保育園の改修計画と、待機児童ゼロ達成の見込みはどのようなか。

A 保育園の改修計画は、民間保育所の開園状況を含め、長久手市全体の保育整備事業の中で考えており、年度内に策定する。待機児童については、新たな保育所の開所による、平成26年度の実入力で、現段階では、待機児童は解消する。

地域共生ステーション整備事業

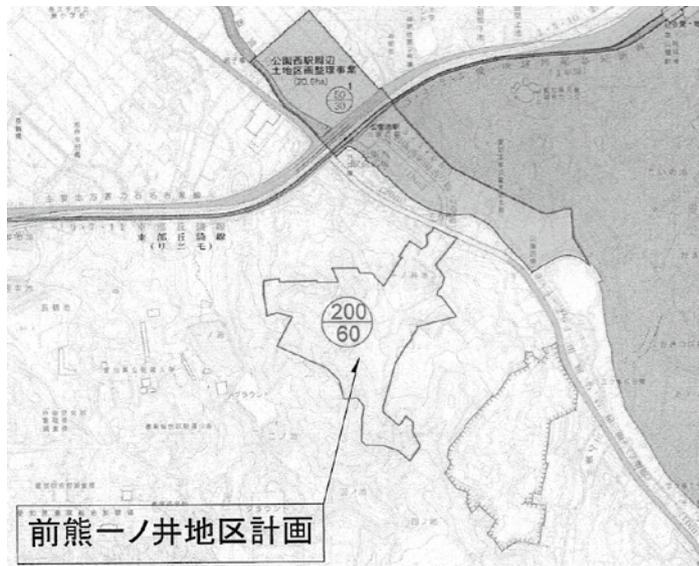
Q 市長の任期中での達成に向け施設規模、用地取得の先行などまず、短期計画を策定することが必要ではないか。

A 地域ごとの計画が具体化した段階で実施計画や新しいまちづくり行程表などに位置付けながら、整備事業を進めていく。

開発行為と環境保護について

Q 三ヶ峯・一ノ井地区周辺の新たな開発計画の状況はどのようなか。

A 建設部長 一ノ井地区周辺の開発は、現在、関係各課等が所管する課題に対して開発事業者と調整を進めている。



香流川源流域で進行する新たな開発計画



ヨソ設置(江戸川区ホームページより)

さとう
ゆみ 議員



Q 公立保育園の土曜日の閉園時間(最大14時まで)の延長を

A 今年度ニーズ調査を行う

Q 土曜日14時までは、昭和59年から変わっていないが、過去に延長を検討したことはなかったか。

A 福祉部次長 住民から特に申し出はなく、検討したことはなかった。

Q 市の認可保育園となる民営の「アスクはなみずき保育園」が土曜日18時まで開園しているのは、ニーズがあるからだと思う。公立保育園も延長すべきではないか。

A 福祉部長 今年度、保護者へニーズ調査を行い、実施方法などを検討していく。

Q 市独自のDV防止カード、リーフレットの作成を

A 作成する

Q 平成24年9月の「市民意識調査」で、「DV(ドメスティックバイオレンス)の相談窓口として知っているところはない」と回答した人が28.5%と多かった結果を受けて、市は何を行ったのか。

A 福祉部長 市の広報紙やホームページ、男女共同参画情報紙「コモン」に相談窓口を掲載した。

Q 市独自のDV防止カードやリーフレットを作成し、公共施設や市内の事業所に設置する考えはないか。

A 市のDV防止基本計画に基づき、市独自のカードやリーフレットを作成する。

指定管理者選定委員会の会議録の公開を

Q 指定管理者の指定は、議会の議決が必要であり、議員はなぜその業者などが選ばれたのかの経緯を知り判断する必要がある。会議は非公開でも、会議録は原則公開とすべきではないか。

A 総務部長 今後は、一部公開する予定である。

常任委員会名称等変更のお知らせ

「市議会委員会に関する条例の一部を改正する条例」の一部改正に伴い、7月1日から「文教福祉委員会」は「教育福祉委員会」へ、「建設環境委員会」は「くらし建設委員会」に名称が変わりました。

また、6月26日付けで川本勝幸議員の辞職に伴い、委員会の構成委員が一部変更となりました。

総務委員会

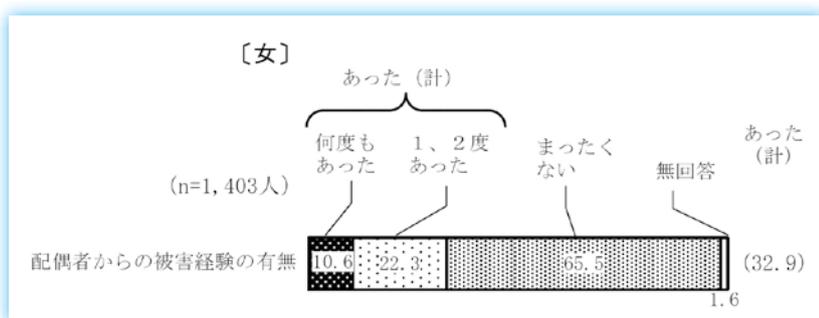
委員長	副委員長
じんの和子	青山直道
加藤和男	正木祥豊
水野竹芳	水野とみ子

教育福祉委員会

委員長	副委員長
原田秀俊	岡崎つよし
加藤武	川合保生
佐野尚人	すえ規代
吉田ひでき	

くらし建設委員会

委員長	副委員長
田崎あきひさ	木村さゆり
浅井たつお	伊藤祐司
さとうゆみ	丹羽茂雄



女性の約3人に1人は配偶者からDVの被害を受けた経験があり、約10人に1人は何度も受けている内閣府が公表した「男女間における暴力に関する調査報告書平成24年4月」から引用

平成25年 第2回定例会 議案審議状況

提出者	議案名	審議結果	さとうゆみ	すえ規代	青山直道	岡崎つよし	田崎あきひさ	吉田ひでき	佐野尚人	加藤和男	木村さゆり	水野とみ子	原田秀俊	じんの和子	浅井たつお	加藤武	伊藤祐司	水野竹芳	丹羽茂雄	川合保生
市	平成25年度一般会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
	部設置条例の一部を改正する条例の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	子ども・子育て会議条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	名古屋都市計画事業公園西駅周辺土地区画整理事業施行条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	市道路線の認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	児童館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市が洞地区新設保育園(児童館併設)建築工事請負契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	固定資産評価員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育委員会の委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市議会委員会に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	議案第40号平成25年度一般会計補正予算(第1号)に対する修正案	否	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×
	請願	不採択	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×

議長 正木祥豊は採決に加わらない。 川本勝幸議員は、6月26日に辞職のため採決に加わらない。

○は賛成 ×は反対

議会基本条例の制定をめざして

地方行政は、市長と議会議員の双方が市民から直接選ばれる二代表制で行われています。この中で市議会は、議事機関として市の重要な政策を決定する「意思決定」と執行機関の「批判・監視」の二つの役割を担っており、地方分権が推進されている今、議会の役割はますます重要となります。

開かれた議会、市民参画の議会にするため、「議員・議会のあり方」「議会と市民の関係」「議会と市長の関係」など議会の基本的なあり方について議論を重ね、市民に必要とされる議会であり続けるための議会基本条例制定をめざしていきます。

議会傍聴記

議員は更なる勉強、市役所はもっと活性化を

私は、約6年間議会を傍聴してきました。今回は3日間全員の質問を全部拝聴しました。まず始めに議員の皆さんが、市政発展のために、大変よく勉強されているのに感動しました。今後ますますの御活躍をお祈り申し上げます。

一方、市役所側の答弁は血の通わないお役所答弁、お役所仕事です。質問にもよるが、明確な答弁に欠けている。できること、できないことを明確にして対処すべき。同時に、一部署ではない関連する

東狭間在住 吉川 潔

部署が多くある。この調整をするのが市長、副市長の役割であり、大いにリーダーシップを発揮して頂きたい。

市民が市役所に最も期待することは、民間感覚で仕事をする事である。

長久手スポーツの杜問題、本件は大変重大な問題である。

吉田市長へ。市長の考え方、哲学を述べて、職員、議会をリードして頂きたい。

TOPICS

市議会一般質問の録画映像をインターネット配信中



閲覧場所 長久手市議会ホームページ

長久手市議会

検索

<http://www.city.nagakute.lg.jp/gikai/>

しない!させない!求めない!

政治家の寄付行為は禁止

- お祭りへの寄付行為
- 病気見舞い
- 葬式の花輪、供花
- 開店祝い、落成式の花輪
- 町内会の催し物へ差し入れ



9月定例議会開催予定

(平成25年9月5日～10月2日 28日間)

月 日	曜日	開始時間	会議日程	議事事項
9月 5日	木	午前10時	本 会 議	議案(上程・説明)
9月 6日	金	午前10時	本 会 議	議案(質疑・委員会付託)
9月10日	火	午前9時30分	本 会 議	一 般 質 問
9月11日	水	午前9時30分	本 会 議	一 般 質 問
9月12日	木	午前9時30分	本 会 議	一 般 質 問
9月17日	火	午前10時	決算特別委員会	
9月18日	水	午前10時	決算特別委員会	
9月20日	金	午前10時	常任委員会	
9月24日	火	午前10時	常任委員会	
9月25日	水	午前10時	常任委員会	
9月30日	月	午前10時	議会運営委員会	
10月2日	水	午前10時	本 会 議	議案(委員長報告・討論採決)

9月議会への請願陳情の提出締切日は8月28日(水)正午です。

編集後記

私にとって1年ぶりの編集委員会は、この6月定例議会の「議会だより」が初めてのレギュラーサイズの編集作業となりました。

編集委員、議会事務局職員、印刷会社が交代・異動で変わった編集環境の中、先輩諸氏が築かれた、すばらしい紙面づくりに習うことからはじめ、編集委員・職員・印刷会社の皆様とともに市民読者の皆様のご意見・協力をいただき、より良い紙面づくりに努めたいと思います。

浅井

編集特別委員

委員長 副委員長
 吉田 ひでき 浅井 たつお 岡崎 つよし
 佐野 尚人 木村 さゆり 丹羽 茂雄